

大植英次プロデュース

# 威風堂 in Hiroshima



©ZENRIN CO., LTD.2016 (Z16EP第367号)

### お問合せ・申込先

威風堂々クラシック in Hiroshima実行委員会事務局 ☎ 082-244-0750  
〒730-0812 広島市中区加古町4-17 ホームページアドレス <http://12dodo.com>



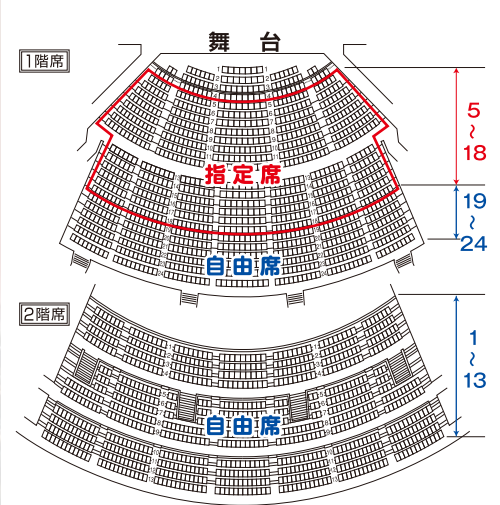
### お客さまへのお願い

- 各会場ともバス停や電停から10分程度ですので、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。
- 開場時間は開演30分前の予定です。また、お客さまの安全確保のため、入場を制限する場合がございます。
- 椅子の数には限りがあるため、立見をお願いする場合がございます。
- 会場は基本的に飲食禁止ですので、予めご了承ください。
- 赤ちゃん連れのお客さまもお気軽にご鑑賞ください。途中くづられることがあっても、どうか周囲のみなさまも温かい目で見守ってくださいますようお願い申し上げます。

### 《協賛企業・団体》

音楽は平和を運ぶ、マツダ、中国電力、広島銀行、中国新聞社、大野石油店、中電工、中電プラント、広島ガス、広島信用金庫、広島電鉄、福屋、フジタ、もみじ銀行、リーガロイヤルホテル広島、中国放送、平尾クリニック、広島トヨペット

威風堂々クラシック in Hiroshima 2016座席表



広島を音楽でいっぱい…  
2016/12/24(土)・25(日)

## 入場無料

(ただし、広島文化学園HBGホールのみ有料)



大植英次

主催：威風堂々クラシック in Hiroshima実行委員会、広島市、(公財)広島市文化財団 協力：(公社)広島交響楽協会、センリン、大植英次後援会  
後援：広島市教育委員会、(公財)広島観光コンベンションビューロー、広島商工会議所、中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島



# Message

広島市、広島市民ならびに威風堂々クラシックのファンやボランティアの方々、そして市民のみで創設された実行委員会の皆様をはじめとする関係者の皆様のご尽力により"威風堂々クラシック in Hiroshima"は4年目を迎える事が出来ました。

皆様と一緒に歩んで愛寵3年、わたしを含め関係者一同心音感泣です。

2010年7月16日に起きた"庄原ゲリラ豪雨"において、3日で13公演の樽募金活動をしたのがきっかけで沢山の方々にお会いした際、皆様が音楽に飢えていらっしやっただのを知り「広島市民の老若男女の皆様がクラシック音楽を気軽に聴ける機会を創出したい」という思いが始まりました。

音楽には人々を癒し夢や希望、愛や平和なひと時を献ずる力があるという事を、被災された方々からひしひしと感じ、高教を得たからです。

それが広島の街に音楽が溢れる「威風堂々クラシック in Hiroshima」となり、第4回目が執り行なわれるまでになり大変喜ばしく思います。

第4回—この4には色々な意味が含まれています。

3次元は空間ですが4次元には音楽に大事な、空間に時間が加わり時空となります。近代音楽のもと4弦楽奏者で演奏するクワルテット。地球の大事な資産自然の四季、東西南北の4方向、4年に1回行われるオリンピック、ワールドカップなどきりがありません。さらには、幸福をもたらす四つ葉のクローバー。

創案者の私に永遠に課された名誉な使命は、この素晴らしい音楽の祭典を絶やさず続けていくことです。今年も「威風堂々クラシック in Hiroshima」にお越しくださる音楽を愛する沢山の皆様に音楽家一同、懇心の演奏でお迎えする事をお約束いたします。

芸術の都と化する広島市の、市民による市民の為の音楽の祭典「威風堂々クラシック」の益々の繁栄と、皆さまの幸せを心からお祈りいたします。

広島市文化大使

大植英次



## 大植英次プロフィール

1956年10月3日広島市生まれ。大阪フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。タンゲルウッド音楽祭でレナード・バーンスタインと出会い、以後、世界各地の公演に同行、助手を務めた。これまでにミネソタ管弦楽団音楽監督、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、バルセロナ交響楽団音楽監督、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督を務め2000年よりハノーファー音楽大学終身正教授。2005年「トリスタンとイゾルデ」を日本人指揮者として初めてバイロイト音楽祭で指揮し、世界の注目を集めた。2006年大阪芸術賞特別賞、斉藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2007年大阪市市民表彰受賞。2009年ニーダーザクセン州功労勲章・一等功労十字章受章、広島市民賞、中国文化賞受賞

## 個人協賛のご案内

威風堂々クラシック in Hiroshima実行委員会では、このイベントの運営資金に充てるため、みなさまにご協賛(ご寄付)のお願いをしております。イベントの趣旨に賛同して協賛いただける方は、お手数ですが、郵便局払込用紙に、住所、氏名、電話番号をご記入の上、12月2日(金)までに下記によりお振込みください。

- 1 協賛金額 1口2,000円(何口でも構いません)
- 2 振込み先 ゆうちょ銀行 01310-8-102593 威風堂々クラシック in Hiroshima 実行委員会
- 3 問合せ先 威風堂々クラシック in Hiroshima 実行委員会事務局 ☎ 082-244-0750

※1口につき、12月25日(日)18:00開演の広島文化学園HBGホールでの入場券(指定席券)1枚進呈(ただし、最大5枚まで。席の指定はできません。ご希望枚数が連番になるよう座席を自動的に割り当てます。自由席をご希望の方はその旨、振込用紙の通信欄にご記入ください。)

# Program

## 2016/12/24 (土)

1	10:30 11:15	JMSアステールプラザ 多目的スタジオ	指揮: 大植英次 広島心音オーケストラ* エルガー/威風堂々 ウィリアムズ/シンドラーのリスト チャイコフスキー/交響曲第4番第4楽章
2	12:00 13:00	広島県立美術館 1階 メインロビー	ピアノ: 保屋野美和, 末岡修一郎, 大植英次 モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番K.488 2楽章 ムソルグスキー/展覧会の絵
3	13:30 14:20	中国電力株式会社 本社1階 ロビー	チェロ: 秋津智承 ヴァイオリン: 佐久間聡一, 井前慶子 ピアノ: 末岡修一郎 大植英次 ブルッフ/コロドライ モンティ/チャルダッシュ マスネ/タイスの瞑想曲 ヴィターリ/シャコンヌ ブラームス/ハンガリー舞曲
4	14:50 15:40	NHK広島放送センタービル 1階 ロビー	ヴァイオリン: 木村紗綾 トロンボーン: 中本祐希 ピアノ: 土居由里子 チューバ: 小畑清佳 ピアノ: 池田真央 オーボエ: 岡田倫弥 クラリネット: 下村景, 宮岡優吉 ピアノ: 樋口史都 ピアノ: 大植英次 ドヴォルザーク/マズルカ Op.49 ボザ/バラード シューマン/アダージョとアレグロ サンサーンス/オーボエソナタ Op.166 メンデルスゾーン/2つのコンチェルトシュテュックより第1番短調
5	17:10 18:00	ひろしま美術館 本館ホール	指揮: チェンパロ: 大植英次 威風堂々四季アンサンブル ヴィヴァルディ/四季

## 2016/12/25 (日)

1	10:15 11:15	旧日本銀行広島支店	弦楽アンサンブルによるコンサート 指揮: チェンパロ: 大植英次 バッハ/ブランデンブルグ協奏曲第3番 メンデルスゾーン/弦楽八重奏曲
2	11:30 12:20	地下街シャレオ 中央広場	指揮: 大植英次 広島心音木管アンサンブル* 心音弦楽アンサンブル* ヴァイオリン: 石井郁子, 山根啓太郎 ヴィオラ: 柴智宏 チェロ: 伊藤哲次 モーツァルト/セレナード12番K.388 モーツァルト/アイネクライネナハトムジーク ほか
3	12:35 13:35	広島市役所 1階 市民ロビー	子どものためのコンサート ☆おうちにある打楽器を持って来てください♪ 指揮: 大植英次 サンサーンス/動物の謝肉祭
4	13:40 14:25	福屋広島駅前店 6階 マルチの広場	ヴァイオリン: 小島燦, 北田千尋 ピアノ: 保屋野美和, 大植英次 リスト/メフィストワルツ サラサーテ/ナヴァラ バッハ/2つのヴァイオリンのための協奏曲第2楽章
5	15:30 16:30	リーガロイヤルホテル広島 1階 チャペル・リュヴェール	チェロ: 秋津智承 ピアノ: 末岡修一郎 シューマン/チェロ協奏曲 イ短調
6	18:00 20:30	広島市文化交流会館 広島文化学園HBGホール ※入場料 自由席1,000円 指定席1,500円	指揮: 大植英次 広島心音オーケストラ* コーブランド/市民のためのファンファーレ 熊本県民謡/五木の子守歌 ウィリアムズ/シンドラーのリスト バーリン/シンフォニックポर्टレート アンダーソン/スレーライド グルーバー/きよこの夜 チャイコフスキー/くるみ割り人形 ラヴェル/ボレロ ホルスト/木星 レスピーギ/ローマの松 外山雄三/八木節 ☆大植英次より、ささやかなプレゼントがあります♪

(開演の30分前に開場する予定です。また、出演者・演目・時間等は変更になる場合がございます。)

※ 入場券取扱所: エディオン広島本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、JMSアステールプラザ、各区民文化センター、電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 311-703) 【区民文化センターは自由席のみのお取り扱いです。】

※ 「心音(しんおん)」とは、大植英次さんが「音を耳で聞くのではなく心で感じるものだ」と考え、長年、モットーとしてこられた大切な言葉です。公募による若手演奏家が編成されたオーケストラとアンサンブルは、ここから命名しました。